

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 澤田一成

取組状況	
教育	<p>1. リモート授業の展開 新型コロナウイルス感染を防止するため、Teamsを活用してリモート授業を展開した。授業の様子を動画記録し、全ての学生が閲覧できるよう公開することで自主学習に役立てた。</p> <p>2. 在宅学習用教材の作成と活用 在宅学習期間や分散登校期間中の学習に対応するための特別教材を準備し、活用した。教材に合わせた演習課題も作成し、添削を繰り返すことで学生の学習支援に努めた。</p> <p>3. 学生への個別対応 日頃からの学習習慣が身につけていない学生(主に低学年)には課題配信型の授業は効果をあげにくい。今年度は、年度当初に在宅学習が2ヶ月続いた影響が大きいと考えるが、今年度の成績不振者は例年より大幅に多かった。これらの学生には特別に補習を行って学習支援にあたり、予定の学習内容を習得させることができた。</p>
研究	<p>ボーイスカウト運動の教育法(スカウト教育法)を取り入れて教材プリントを改善し、その教育効果に対するデータを収集した。今年度は新型コロナウイルスへの対応として在宅学習や分散登校が実施されたため、それらに対応した教材を準備した。今後はこれらの効果測定を行い、研究論文をまとめる予定である。</p>
社会貢献	<p>1. 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟副リーダー・トレーナー</p>